

# 道玄だより

創刊号 2009年1月27日発行

ご挨拶

伝統文化の再生は私共の願いであり仕事です。最近の世界経済の混乱は際限のない人間の欲望の終末期を見るようで情けなく思います。目先に心を奪われ過去を遠くに追いやるのではなく明日への道しるべとして伝統文化を活用していれば、と残念に思います。

詰まるところ、人間はグローバルには生きられず、ローカルな所産であることを今改めて考え直す時機ではないでしょうか。

誰の心にもある古里への思いを温かく積み上げることこそ、日本の伝統文化の再生であり、これからの社会の機軸となるのです。

株式会社 さわの道玄

代表取締役 澤野 道玄

## 京都府宇治 平等院北門塗装工事

(工事期間:平成20年6月～平成20年8月)



施工前

施工後

京都宇治にある平等院内の建造物は酸化鉄系顔料※と膠による塗装がされています。今回ご依頼を受けましたの塗装修理では、色調の再現のため膠と酸化鉄系顔料と朱を使用しました。

社寺塗装の鮮やかな色彩には、様々な鉱物が使われています。現在、それらの材料需要が減少していているため、材料の調達、工夫も文化財修理での一つの重要なテーマとなっています。

○酸化鉄系塗装とは  
酸化鉄系塗装は一般に、ベンガラ、たいしゃ、朱土等時代によって呼称は異なる。伝統的建造物で塗装される顔料である。

### わたしの好きな文化財

製作部保存修復担当 藤原二郎

人間というもの、約五十世代くらいを経ても環境に合わせて身体特徴も大分変わってしまうらしい。時間にして二千年ほど。それだけの時間が経つと白人も黒人に近い肌の色になり得るとのこと。隣国中国最古の王朝は殷である。三千年以上昔の話である。近隣のよしみは少々あるが、今とは違う人々の全くの異世界ではなかったのかと思う。泉屋博古館の殷の青銅器類はその異世界の政治・文化・生産の先端テクノロジーであった筈である。異様でさえある。けど壁に当たっている時の私の心中の図はあの形あの文様である。



## 河内長野市指定 金剛寺登高座 漆保存修復工事

(工事期間:平成20年3月～平成20年6月)

金剛寺の登高坐は鎌倉時代のもの。全体に黒漆、彩塗が施されていますが、漆塗膜には断紋※①が顕れ、塗膜の色も時代を経た色※②となっていました。

今回の修理方針は、市の文化財担当の方と協議の結果、単に新しく塗り直すのではなく、年代の経た漆塗膜自体の保存と、その深みのある美しさを再現することに焦点を置きました。修復した登高坐は金剛寺の宝物館に飾られています。



※①断紋の保存



※②時代を経た漆の持つ色(羊羹色)の再現



日本には時代を経た漆の塗膜の割れ自体を紋様として味わう文化があり、それらの模様は『断紋』と呼ばれ、断紋が現れものをより、貴重にされている場合もあるようです。登高坐の場合その柱に断紋が出ていた為、古い塗膜ごと紙でくるみ保存を行い、その上から上塗りを行いました。

時代を経た漆は、漆分のみが残って、より深みを増した色になります。漆を塗る人の間では羊羹色と表現されたりします。今回の塗り漆は、三種類ほどの漆を混ぜ合わせ深みのある微妙な色と艶を再現しました。

◇金剛寺へのアクセス◇

南海高野線および近鉄長野線河内長野駅から  
南海バス天野山線「光明池駅行き(1系統)」  
「榎尾中学校前行き(2系統)」 「サクセンター行き(4系統)」  
「天野山行き(特4系統)」のいずれかに乗車し  
「天野山」バス停下車すぐ。





文化財に宿る先人の燦き（きらめき）を体感しませんか？

文化財には先人の知恵と情熱が宿っています。現代を生きる私達がそれに触れ、精神的な豊かさを味わったとき、文化財の本質が見えてくるようです。様々な文化財がより多くの方々大切な宝物となりますように願いを込めて、講座をお届けします。  
企業・法人・団体様向け特別講座や出張講座も併せ承ります。

## （株）さわの道玄へのアクセス



＜最寄駅・停留所＞  
地下鉄烏丸線「四条」駅/阪急京都線「烏丸」駅/市バス「四条西洞院」

### 文化財ふれあい講座

## 昭和の大修理に携わった匠が語る「桂離宮の美」

桂川の畔に佇む桂離宮。木目が最も美しい北山杉の風合いを生かした御殿は、柱の節一つ一つの位置まで、室内の調度品や襖絵と調和するよう、綿密に計算されています。今回は、昭和51年、空前の大修理に携わった二人の技術者に、その魅力を語ってもらいます。

時間 14時～15時30分終了予定（会場13時30分）  
参加料 全4回セット：5,000円（圓塾・京都流会員）6,000円（一般）  
1回毎：1,500円/回（圓塾・京都流会員）1,800円/回（一般）  
定員 30名様（先着順）

日程	テーマ	講師	会場
第1回 10月17日(金)	「なぜ、桂の地が選ばれたか？」	澤野道玄	京都流セミナールーム
第2回 11月29日(土)	「数寄屋建築の魅力」	安井清	野仏庵
第3回 1月16日(金)	「桂離宮修復余話」	澤野道玄	京都流セミナールーム
第4回 2月20日(金)	「桂離宮、こんなすごい技術が！」	安井清	京都流セミナールーム

安井 清（やすい きよし）

㈱やすいきよし事務所代表。数寄屋を中心に伝統建築一筋の道を歩む。平成13年、多くの文化財級の建物が傷んだままになっている現状を憂い、志のある職人達を集め、伝統建築の技術伝承のため「清塾」を起し、数寄屋大工の技術を伝える。平成18年には、京都の町家・杉本家の敷地内の家と、天竜寺・宝厳院の修理に大きな成果を取った。国宝の茶室、如庵や待庵の移築、桂離宮の解体、メトロポリタン美術館の書院の建設など、第一級の伝統建築に多く携わり、国際的に評価されている。

澤野 道玄（さわの どうげん）

㈱さわの道玄社長・社寺建造物美術協議会会長・祇園祭山鉾連合会専門委員。桂離宮の大修理をはじめ、全国数多くの文化財修復を手がける。㈱さわの道玄では、多様な技と知識を持った職人たちを集め、漆塗り、彩色、丹塗りなどの伝統的な技術と、現代科学を取り入れた新しい技術の両方を用いて、総合的に文化財修復に取り組んでいる。また、平成15年には、業界で初めて国際標準規格ISO 9001を取得し、現代社会のシステムに沿った方法で、次世代への架け橋として伝統文化の永続的な発展を目指している。



## 株式会社 さわの道玄

京都市中京区錦小路油小路東入る空也町491  
TEL075-254-3885 FAX075-254-3886  
e-mail:sawanodougen@ace.odn.ne.jp  
http://www.1.odn.ne.jp/sawanodougen/

発行責任者 ㈱さわの道玄 徳永陽子

問合せ・申込み: 圓塾 〒606-8145 京都市左京区一乗寺葉山15-3野仏庵内 TEL/FAX 075-712-8770  
●月～金9時～19時 ●URL <http://www.enjyuku.info> ●E-mail [info@enjyuku.info](mailto:info@enjyuku.info)